

様式第5号（第7条関係）

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	防犯カメラ新規設置事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区内に23ヶ所の防犯カメラが設置されていた。
事業実施後の状況	新たに1ヶ所の防犯カメラを設置し、全24か所となった。
事業の効果	防犯カメラは犯罪被害の未然防止や犯罪の予防の有用性が認められている。地域の安全で安心な暮らしの実現を目指すために有効と考える。
今後の課題等	設置を増やしてほしいとの地域ニーズがあるが、別途、市が設置済の防犯カメラもあり、撮影範囲がかぶらないように、調整が必要である。また毎年の維持管理費用が増えていることが課題である。

様式第5号（第7条関係）

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業（継続事業）
事業実施前の状況	23台の防犯カメラを管理している。
事業実施後の状況	新たに1台増えて、全24台となった。
事業の効果	-
今後の課題等	本維持管理費用が令和5年提案事業の提案額の約24%を占めていたことが課題である。

様式第5号（第7条関係）

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	緊急通報装置管理事業（継続事業）
事業実施前の状況	継続して緊急通報装置を管理している。
事業実施後の状況	-
事業の効果	小学校や中学校への主要な通学路にあり、安心感があるとともにも犯罪の抑止効果が期待できる。
今後の課題等	いたずら防止や解除の仕方など、公園利用者や近隣マンション住民への周知が不十分であったために、近隣のマンション住民に注意事項説明の機会をつくった。今後もこうした機会を作ることを継続していくが必要である。

令和 6年 5月 20日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	[市実施事業] 地域コミュニティ推進協議会拠点管理運営事業 (継続事業)
事業実施前の状況	継続して本協議会事務所を管理している。
事業実施後の状況	同上。
事業の効果	事務所としての機能を発揮しているだけでなく、「五月丘まちづくりプラザ(通称まちプラ)」として、地域に開いている。
今後の課題等	共同利用施設五月丘会館内にあるため、閉館日に入館できず、本事務所として使用できなくなり、不便である。その他、複合機の更新が必要。

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	[地域実施事業] 地域コミュニティ推進協議会拠点管理運営事業 (継続事業)
事業実施前の状況	2019年8月に本協議会事務所を開設した。さらに 2020年9月、本協議会事務所を、「五月丘まちづくり プラザ」(略称:まちプラ)として地域に開いた。
事業実施後の状況	まちプラは、地域住民が自由に立ち寄れるサロンと して、地域情報を掲示するまちの情報センターとし て、また地域に関するご意見や相談事などを直接伝 えることのできる相談所としての機能を有する。
事業の効果	開設して4年目となり、住民の貴重な声を直接聞く ことができ、日常の身近な情報が寄せられている。
今後の課題等	スタッフは本協議会会員に加えて地域の有償ボラ ンティアの協力により運営しており、まちづくり に対する理解度や対応能力に差がある。

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	AED管理事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区内に2箇所のAEDを管理している。
事業実施後の状況	五月丘会館に設置のAEDを新規に更新した。
事業の効果	これまで使用実績は1度もないが、校区内に1ヶ所は必要と考え、五月丘会館のAEDのみ更新することとした。
今後の課題等	定期的にバッテリー等の交換が必要となる。

令和 6年 5月 30 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区スポーツ振興会主催の大会を支援する。開催時間を短縮し、午前のみ実施。接触型の競技を避けるなど感染対策に工夫を凝らしながら実施。
事業実施後の状況	令和4年度と同様に午前のみの実施とした。競技種目についてコロナ前の種目を復活させ、工夫しながら実施することができた。
事業の効果	子ども達から大人まで楽しく競技に参加できた大会となった。
今後の課題等	コロナと共存するイベント運営。

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業（継続事業）
事業実施前の状況	本協議会の活動内容を地域住民に周知するとともに、地域住民に必要な情報を発信するために、年に2回、まちづくり通信（広報誌）を発行し、全戸配布をしている。
事業実施後の状況	上記の通り。
事業の効果	令和5年度から外部に委託し、誌面のデザインを一新した。とても読みやすくなったと好評を得ている。本協議会の活動や地域での取り組みについて情報発信を行うとともに、地域で活動する他団体を紹介した。広報誌を見て、会員の募集や有償ボランティア募集への申し込みもあり、今後も地域住民に関心のある内容を検討していきたい。
今後の課題等	令和4年度から幅広い層に情報発信し、本協議会の認知度を上げるため、公式LINEをつくっている。スタッフも含めて運用方法について課題である。

令和 6年 5月30 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域防災訓練強化事業（継続事業）
事業実施前の状況	五月丘一丁目自治会自主防災・防犯隊と五月丘五丁目自主防災団と合同で防災訓練を実施。本協議会は自主防災組織のない地域住民の受け皿となる。
事業実施後の状況	毎年のグループ訓練の他、起震車による地震体験、避難所設営訓練を実施した。令和5年度から校区子ども会が参加するようになった。子ども・子育て世帯の参加により、幅広い層の参加を得られた。
事業の効果	災害への備え、防災についての知識、そして災害に強いまちを目指し、地域住民が共助できる関係構築の重要性を学んだ。
今後の課題等	本校区は自治会の加入率が低く、自主防災組織がない地域に住む住民が多いことが特徴で、今後も本協議会が、災害に強いまちづくりに向けて地域の共助的役割を果たせるように活動していきたい。

令和 6年 5月 30 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域防災体制強化等事業(継続)
事業実施前の状況	指定一般避難所となる五月丘小学校に必要な防災備品をリストアップし、順次、購入している。
事業実施後の状況	おむつ・生理用品、工具類の他、防災トイレを購入した。
事業の効果	防災に対する事前の備えを進めている。
今後の課題等	今後も本協議会所有の防災備品を点検し、交換が必要な備品や不足している備品を整備していく。

令和 6年 5月30 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	盆踊り大会支援事業（継続事業）
事業実施前の状況	校区スポーツ振興会主催の本大会を支援。
事業実施後の状況	お祭りの内容がコロナ前の内容に戻り、天候にも恵まれてたくさんの方が来場され、盛大なお祭りとなった。
事業の効果	本校区は地域イベントの少ない地域である。本大会は子どもからお年寄りまで楽しめる、地域にとって貴重なおまつりである。今後も支援を継続していく。
今後の課題等	スタッフの高齢化と暑さの影響もあり、設営が大変。秦野地域コミュニティさんのやぐらをお借りするなど、設営の省力化を図った。今後も対策が必要。

令和 6年 5月 30 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	五月丘フェスタ開催事業（継続事業）
事業実施前の状況	毎年、五月丘小学校で実施。内容はフリーマーケット、模擬店、スポーツゲーム、キッズコーナー、ステージ。
事業実施後の状況	会場内で地区福祉委員会さんがフードドライブを行った。地域のお困りの方のために協力した。
事業の効果	本事業は、子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめるイベントで、地域住民が交流できる良い機会となっている。運営には地域で活動するほとんどの団体の協力を得て実施する、地域連携事業である。また地域の学校（五月丘小学校・渋谷中学校・渋谷高等学校）と連携していることも重要である。
今後の課題等	設営及び当日の運営の人員の確保。各地域団体の高齢化のため、若いスタッフの確保が必要。

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	コミュニティサロン設置事業（継続事業）
事業実施前の状況	毎月2回、コミュニティカフェ五月丘(C.C.S.)を開催している。
事業実施後の状況	内容をコロナ前の通常スタイルに戻し、これまで実施できなかったイベント(歌声サロンや歯育て教室、和菓子づくり体験)も復活させた。
事業の効果	2012年度から本事業を始めて11年となる。地域に認知され、地域の憩いのコミュニティカフェとして定着している。
今後の課題等	協議会の中で会員の入退があり、コミュニティカフェスタッフが減った。急遽、地域で有償ボランティアを募集し、スタッフを補充し、現在運営している。

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	高齢者等の居場所づくり事業（継続事業）
事業実施前の状況	毎月第3日曜日に、「おしゃべり広場」を開催している。
事業実施後の状況	内容をコロナ前の通常開催の内容に戻している。
事業の効果	12月開催のクリスマス会には、毎年多くの地域の方が来場される。今年度は渋谷高等学校アコースティック音楽部の演奏会を始め、サンタクロース登場の他、ビンゴゲームなど、会場は大いに盛り上がり、楽しいクリスマス会となった。本協議会では地域の学校との連携に力を入れている。地域の学校に通う若い力を含めて、高齢化する地域を活気づけたいと考えている。
今後の課題等	スタッフの人員確保。本事業の立ち上げ時には、民生委員さんと地区福祉委員会さんの協力を得ていたが、協力者の高齢化に伴い、この協力を得にくくなっている。

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	地域介護者支援事業（新規事業）
事業実施前の状況	五月丘地域は高齢化が進んでおり、介護に不安を抱える方が増えていた。
事業実施後の状況	介護に関する知識や心得を学ぶ機会を提供するために、介護教室を開催した。 病院地域連携室の看護師、池田市地域包括支援センターの職員、介護施設の施設長さんに講師をお願いし、いざというときに困らないためにしておきたいことや介護保険制度の概要、介護の心構えについての講演と、介護体験を実施した。
事業の効果	介護を考える良い機会であると好評を得た。
今後の課題等	今後も継続してセミナーを開催し、介護をより安心して受けられる環境づくりに取り組んでいくこと。

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	子育て支援事業（新規事業）
事業実施前の状況	五月丘に暮らす3歳以下の子どもをもつお母さんが親子で参加する「ほっとサロン」をNPO法人ママの働き方応援隊、ひだまり助産院の協力を得て開催。
事業実施後の状況	令和5年12月に地区福祉委員会さんの「子育てサロン」と合同で実施した。
事業の効果	地区福祉委員会さんに子ども達の遊びやお楽しみタイムなどを担当していただいたおかげで、お母さん達が「ほっと」できる時間となり、心を元気にすることができた。子育てやお母さん同士の情報交換・交流の場となった。
今後の課題等	開催時期について見直しが必要。インフルエンザ等が流行る時期の開催は、3歳以下のお子さんの参加は難しい。

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	花プロジェクト事業（継続事業）
事業実施前の状況	五月丘小学校の授業の一環として、また渋谷中学校のクラブ活動の一環として、年2回実施。
事業実施後の状況	(6月)小学校330株、中学校220株、花植えを実施。 (10月)小学校1,000株、中学校800株、プラグ苗移植を実施。 (12月)小学校及び中学校で出荷式を実施。子ども達が育てて開花させた花は、校区内の自治会(アルビス五月ヶ丘)やしぶたに学園、池田五月山教会幼稚園、五月丘こども園、くすのき学園、五月丘郵便局、セブンイレブン五月丘店に配った。
事業の効果	子ども達が育てた花を地域の公共の場に植えて、街並みに花を添える。学校と地域が連携して緑豊かなまちづくりに取り組んでいる。
今後の課題等	地域に配る花の数を増やしたい。

令和 6年 5月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 五月丘地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 山田 敏人

記

事業の名称	イベント運営事業（継続事業）
事業実施前の状況	グラウンドゴルフ（年2回）、里山教室（年2回）、五月山ハイキング、卓球教室を開催。
事業実施後の状況	グラウンドゴルフ（6月、11月、3月）、里山教室（7月、11月）、五月山ハイキング（1月）、卓球教室（2月）を開催。五月山ハイキングと卓球教室は、校区スポーツ振興会主催のイベントでこれを支援。
事業の効果	グラウンドゴルフ大会は、スポーツを通じた地域交流の機会としている。 里山教室は、五月山で間伐作業を体験し、子ども達に五月山の自然や里山の大切さを伝えた。
今後の課題等	7月開催の里山教室では、当日の終了後に熱中症警戒アラートが発表され、今後は開催時期を見直す必要がある。